

令和 4 年 9 月 20 日

## 差別撤廃条例の改正に向けた信州大学経法学部生との意見交換

**1 人権が守られていない、差別があると感じる時**

- ・ 少しの風邪症状で、周囲からコロナ扱いを受ける。
- ・ 県外ナンバーの車（感染症拡大期の移動に対する忌避感）
- ・ コロナで（思っていたような）学生生活ができない。
- ・ 政治家が大学受験に際し「身の丈にあった」という発言をしていたのを聞いた。都会と田舎の差を感じた。
- ・ 名字でからかわれる。
- ・ 母親が男性カップルを見て気持ち悪いといったニュアンスの言葉を発することがあり、世代の差みたいなものを感じた。
- ・ 男だから・・・と上の年代の人に言われる。
- ・ 女は子どもを産むべきと言われる。
- ・ ネット上で過激な発言をするフェミニストへの文句を言われる。
- ・ ネットでネトウヨ、パヨク（※1）（を見たとき）
- ・ SNSをやるのが当たり前という風潮

**2 人権を守るためにはどのような態度、取組みが必要か**

- ・ 誰がコロナに感染してもおかしくない。インフルエンザのように扱う。
- ・ 感染症に対する正しい知識を共有できるようにする。
- ・ 人を大枠（男、女、若者など）でくくるのをやめてほしい。
- ・ 時間の経過で解決される。
- ・ 考えを「受け入れる」のではなく「受け流す」
- ・ 新しい文化、風習を受け入れる姿勢を教育で身に付ける。
- ・ 常識のアップデートを恐れず、怠らない。
- ・ 現実の発言には指摘する。ネットの発言には通報機能を使う。

**3 差別をなくし人権を守るための条例にはどのようなことを盛り込むべきか**

- ・ 自分の意見を強い手段で押し付けない。
- ・ 自分で考え、判断できる下地づくり（教育）

※1 ネットウヨ - ネット右翼。ネット上で右翼的な発言をする人  
パヨク - ネット左翼。ネット上で左翼的な発言をする人

令和4年10月4日

差別撤廃条例の改正に向けた松本大学地域づくり考房『ゆめ』所属学生との意見交換

## 1 人権が守られていない、差別があると感じる時

- ・ 良い大学に行って大企業に就職することが人生の成功（という意見に触れたとき）
- ・ 厳しくすることが正義
- ・ 学校で先生が生徒に濡れ衣を着せて怒る
- ・ 正規と非正規の差（特に教員）
- ・ 今どきの若者は～
- ・ 昔の地図を見ていたときの偏見意識（居住地域）
- ・ 長野県民はスキーができる（決めつけ）
- ・ 主婦＝無職
- ・ コロナ禍で県外ナンバーの車が傷つけられる
- ・ 女性差別をなくすことに捉われすぎて男性が不利になっていることもある。平等ではないと感じる。
- ・ 普通、一般的という言葉を使って人の行動を制限する。
- ・ 多様性を謳う社会の割にタブーが増えている。

## 2 人権を守るためにはどのような態度、取組みが必要か

- ・ 投票に行く
- ・ 全員が同じフィールドにだと差別がうまれる。フィールドを分ける。
- ・ お互いを理解し合う。
- ・ 実務評価を定期的に行う。
- ・ 若者の考えを積極的に発信する。
- ・ 他の教員や生徒と情報共有
- ・ ワークショップなど、話し合う場づくり
- ・ 差別、偏見に対する通報に報奨金
- ・ 思っても外に出さない。
- ・ 自分が正しいと思いつぎない。
- ・ 情報（世論）の更新をスムーズに。
- ・ いじめ、差別、偏見をしてしまう、持ってしまう側の気持ちに対して「なぜ」を考える。
- ・ 自分に自信をもつこと。（もたせること）

## 3 差別をなくし人権を守るための条例にはどのようなことを盛り込むべきか

- ・ 先入観を発信しない。
- ・ 正解はなく、疑い続け、考え続けよう。
- ・ 一人、1つ、思いやりの心を持つ。